

# 体のこと・心のこと、福祉体験学習…

## 舞鶴市身体障害者福祉センター出前授業



4年生と5年生では、「総合的な学習の時間」の学習で、6月から数回に分けて、障害者理解の学習をしてきました。舞鶴市身体障害者福祉センターの方々には、毎年ご指導をお世話になっており、ていねいに分かりやすく教えてくださることで、様々な障害についてしっかりと学ぶことができています。継続的にご指導いただきありがとうございます。

学習では、肢体不自由の方や視力障害・聴覚障害のある方の話を直に聞き、実際の生活において苦労することや願いなどについて知ることができました。

また、障害者のために開発された器具や道具を児童が手に取って使ってみることで、色々な生活の工夫についても知ることができました。

1学期に学んだことをもとにそれぞれが課題を持ち、2学期以降は、身体障害者福祉センターを訪問して、車いすを体験するなど、より実感を伴った理解へとつなげていきたいと考えます。健常者にとって、四肢が自由に動く、目が見える、音が聞こえるといったことは、特別意識することもなく当たり前のことですが、そうではない世界を、実際に車いすに乗ったりアイマスクをしたりすることで、鮮明に理解することができます。障害のある方々と共に、よりよい社会の実現に向けて、自分に何ができるのか考えてほしいと思います。



## 4年生 自転車運転免許証交付を伴う自転車教室」猛暑の中、ご指導お世話になりました。



7月14日（金）に、4年生が「自転車運転免許証交付を伴う自転車教室」に取り組みました。自転車による交通事故は、非常に多く発生しており、特に小学生やお年寄りの関係する事故が増加しています。また、自転車による加害事故も多く発生し、近年自転車の安全運転について、関心が高まってきています。

志楽小学校では、昨年度から「自転車運転免許証交付を伴う自転車教室」に取り組んでいます。

道路標識の意味や交通ルールを学ぶ「学科」と、安全運転のポイントを押さえ、自転車運転技術を学ぶ「実技」があり、両方の試験を受けました。学科は教室で行いましたが、実技はグラウンドに描かれた検定コースで行いました。

安全に自転車を運転するために必要なことは、ズバリ「安全確認」です。自転車に乗るとき、走り出すとき、角を曲がる時、交差点、信号機…止まって自転車を降りるまで、常に安全を確認する意識を持っていることが大切です。安全な自転車運転を心がけることは、自他の命を守るとともに、将来自動車に乗るかもしれない児童にとって、とても大切なことだと考えています。



## 京都府 学校アート・出会い・プロジェクトによる 音楽教室」

### 村上 英明 氏 山口 弘美 氏 を迎えて

7月10日（月）には、6年生と4年生で、合唱を通じて歌うことの楽しさや音楽のすばらしさを学ぶために、京都市少年合唱団OB会合唱団指揮者であり、元紫野高校合唱部顧問の村上先生と、声楽家の山口先生をお招きし、ご指導いただきました。



歌い方のポイントをユニークな話で分かりやすく教えていただいたり、美しい歌声を聞かせていただいたりして、とても有意義な音楽の時間となりました。6年生は11月にある舞鶴市の合同音楽会に向けて練習もしていきます。今回学んだことをしっかりと活かして、美しいハーモニーをつかってほしいです。

